9 月

日月から11月30日日ま

通試行運転開

始

今月はその内容をご紹介します。 『間 政策推進室などの問題解決の一つとして、9月からデマンドで「バスの本数が少ない」「駅まで交通の便が悪い」 ギー内線423一 交通を試行運転します。「買い物に行く方法がない

愛称は

のぞみカ

でもな

理

由町のに 一番は 「交通が不便」

利用には

事前登録が必要です。

1人1回利用で

300円です。

性を向上させることが課題となってい 生活が不便」と続き、 由は「交通が不便」であるという結果 平成22年度に行った住民意識調査の 町に住み続けたくない 二番目には 「買い物など日常 日常生活の利便 一番の理

移動手段に困っている住民が多く存在

ます。

今の公共交通の課題とは

三芳町全域で、

日常生活におい

がないため行けない住民もいます。 書館まで行きたくても、 く公共交通が無いことが課題となって します。 が少なく、 フバスが走っている地域でも運行本数 ことができず、 いるところもあります。 道路が狭いためにバスが通行する 現在、藤久保公民館や中央図 特に人が多く集まる地域に行 交通空白地域となって さらに、 バスの停留所 ライ

ま

できないなどの課題もあります。 こうした課題を解消するために、 乗り たい時間に乗ることが

HJ

デマンド交通を実施した川越市の担当者の話

51.0%

町に住み続けたくない理由の

平成 22 年度住民意識調査「町に住み続け

たくない理由」の回答結果(149人回答)。

半数以上の人が『交通が不便』という結果

となり、公共交通の利便性向上が求められ

ていることがわかります。

アンケート結果(複数回答可)

川越市では昨年の10月末から12月末の2か月間、川越市東部の交通不便 地域でデマンド交通実証実験を行いました。2回以上利用した人の理由が

「停留所が自宅から近かった」という意見が多く、歩かずに利用できるサー

ビスが評価されたようです。上手にこのデマンド交通を使うことで、日常生

活の利便性が上がると思います。最初は分か

りにくいサービスと感じるかもしれませんが、

一度利用してしまえばとても有効な公共交通

サービスのひとつだと思います。

通」を試行運転することになりま では公共交通について調査研究を行 その結果、9月から「デマンド交

川越市都市計画部交通政策課

29.5%

28.2%

21.5%

21.5%

15.4%

14.8%

10.1%

6.7%

佐藤 欣也さん

町内世帯の約6%が公共交通を利用 60用 **%**し から約6 づらい世帯を

のデマンド交通を実施することで利用 町内全域を対象とする共通乗降場方式 ジ下部表参照)。 ことができます。 しづらい地域となっています しづらい世帯を約6%まで減少させる では実際に、どのように利用す 交通空白地域を含む (右ペ

交通が不便

勤務地が遠い

教育上の問題

商売や事業経営に不利 2.7%

その他

無回答 ■ 0.7%

買い物など日常生活が不便

医療や福祉・介護面が不安

余暇や娯楽の場が少ない

住宅 (居住) 環境が悪い

公害や環境問題への不安

災害や交通事故、防犯などの不安

高齢(一人暮らし等)のため

人間関係がうまくいかない

文化・ボランティア活動がしにくい 4.0%

地域の雇用状況が悪い

デマンド交通とは?

デマンドを日本語で言い換える と「需要」という意味になります 住民の需要にあった公共交通を 予約に基づき提供する、という 意味からデマンド交通とされて います。親しみやすいデマンド 交通となるように愛称を公募し、 「のぞみカー」が選ばれました。

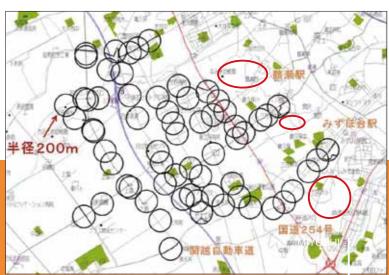




れます。乗降場の詳細は次のページで



1人1回利用で、共通乗降場間であれば、どれだけ走っても300円。



の公共交通の現状を表した図。赤い円で囲まれているところが「交通空白地 そのほかの円は「バス停から半径 200m 以内」を表している。

使用される車両。実際にはステッカーが 車体に貼られます。

よいのかなどの流れを次のページでご